

令和7年4月入学

山口大学大学院技術経営研究科

(専門職大学院)

推薦入試による選抜

学 生 募 集 要 項



山 口 大 学

## 山口大学大学院研究科のアドミッション・ポリシー

山口大学は「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」を理念に、地域の基幹総合大学及び世界に開かれた教育研究機関として、たゆまぬ研究及び社会活動並びにそれらの成果に立脚した教育を実践し、地域に生き、世界に羽ばたく人材の育成に努めます。

そのために、次のような学生の入学を求めています。

### ● 求める学生像

- 高度な理論的・実践的研究に意欲をもつ人
- 研究成果を実践の場で応用・展開できる人
- 豊かな人間性と高度な倫理性、社会性を備えた人

### ● 入学者選抜の基本方針

山口大学の教育理念及び各研究科のアドミッション・ポリシーに基づき、山口大学大学院の教育を受けるにふさわしい能力・適性などを備えた入学者を受け入れるために、各研究科が求める能力・適性等を多面的・総合的かつ公正に評価し、選抜します。

技術経営研究科入試で重視するポイント

◎：強く重視して評価する ○：強く評価する

専攻	選抜内容	高度な理論的・実践的研究を遂行するために必要な知識・技能	研究成果を実践の場で応用・展開できる能力	豊かな人間性と高度な倫理性、社会性を兼備
技術経営専攻	面接	◎	◎	○

## 大学院技術経営研究科のアドミッション・ポリシー及びディプロマ・ポリシー

### 教育上の理念、目的

技術経営（Management of Technology : MOT）とは、「技術を事業の核とする企業・組織が次世代の事業を継続的に創出し、持続的発展を行うための創造的、かつ戦略的なイノベーションのマネジメント」を意味し、わが国の産業の活性化と持続的発展のために、MOT 教育は、研究開発・技術開発において必要な専門的経営能力向上を目指します。

本研究科は、科学技術および企業経営の普遍的原理ならびに最新の知識を統合し、イノベーションを持続的に創出するためのマネジメントの研究を行い、もって総合的・学際的な知識・教養・倫理観に立脚し、自身の課題ならびに地域および地球規模での資源の最適利用を考え、判断する能力を持つ人材を養成することを目的とします。

## アドミッション・ポリシー（求める学生像）

本研究科では以下のいずれかに該当する者を学生として受け入れます。

- 企業、組織、地域、国内外などで自らが中核となってイノベーションに携わり、成果の創出や活用を目指した取り組みをしようとする人
- 企業経営や組織運営において、戦略的な視点から技術を活用した価値創造や経営課題解決に意欲を持つとともに実践に必要な理論や手法を習得して、自ら経営にあたる、経営層を補佐する、将来に向けての経営の一翼を担おうとする、などの意志を持つ人
- 知的資産の創出と活用、蓄積した業務経験の活用や体系化などに基づく新規起業や事業・職務の遂行における高度化などに挑戦的に取り組もうとする人

## ディプロマ・ポリシー

山口大学大学院技術経営研究科では、技術と経営の二つの視点から問題に取り組み、創造的な成果を生み出していくことのできる<技術経営>者を養成することを目的としています。所定の期間在学し、所定の単位を修得し、下記の知識や能力を身に付け、修了審査に合格した学生に「技術経営修士（専門職）」の学位を授与します。

### 【共通する総合的な能力】

1. イノベーションの意義や創発するための方法論について学問横断的に学習・理解し、その知識を主体的に実務に活用・応用する能力
2. 高い倫理観を持って他者と協調して事業活動に取り組む態度を涵養し、社会に貢献する能力

### 【具体的な能力として、以下のいずれかを身に付ける】

3. 研究開発や事業活動などを組織的に遂行するために必要な知識を学び、自らの課題を正しく把握し、それらに合理的かつ効率的に対処する能力
4. 経済法則の原理と価値の計測方法を正しく学習・理解し、事業活動の成果を経済的価値に結びつける能力
5. 知的資産の重要性を理解し、事業遂行に役立てていく仕組みや方法を修得したうえで、自らアイデアを創出し知的資産化する能力
6. グローバルなフィールドで活躍できるように、多様な社会や文化を理解するとともに、自ら仮説を立てて研究方法を構築し、遂行する能力

## I 技術経営研究科の概要

名 称	山口大学大学院技術経営研究科 Graduate School of Innovation and Technology Management
専 攻	技術経営専攻 Department of Technology Management
学位名称	技術経営修士（専門職） 【Master of Technology Management】
修了年限	2年

## II 入学時期

令和7年4月入学

## III 募集人員

技術経営専攻 若干名

#### IV 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、「V 推薦要件」を満たす者

- (1) 日本の大学を令和7年3月までに卒業見込みの者または卒業した者
- (2) 修業年限2年の短期大学に置かれた修業年限2年の専攻科、修業年限3年の短期大学に置かれた修業年限1年の専攻科、高等専門学校に置かれた修業年限2年の専攻科のいずれかであって、学位規則第6条第1項の規定に基づき大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定された専攻科を令和7年3月までに修了見込みの者で、令和7年3月までに学士の学位の授与を受けようとする者、または修了した者で学士の学位を授与された者

#### V 推薦要件

次の各号を満たす者とします。

- (1) 学業成績・人物ともに優れていること
- (2) 出身大学長（学部長）等が責任をもって推薦できる者
- (3) 合格した場合には入学することを確約できる者

#### VI 出願手続

##### 1. 出願期間

令和6年4月15日（月）～令和6年4月26日（金）8時30分～17時15分

郵送の場合は、令和6年4月25日（木）までの発信局消印がある「特定記録郵便速達」に限り受け付けます。

##### 2. 出願書類等

入学志願票 写真票 受験票	所定の用紙を使用し、英語で記入してください。（本募集要項とじ込み） ・写真票は出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きの写真（4cm×3cm）を、所定欄に貼ってください。 ・切り離さず提出してください。
履歴書	所定の用紙を使用し、英語で記入してください。（本募集要項とじ込み）
検定料振替払込 受付証明書	検定料の振替払込受付証明書を所定欄に貼り付けてください。
卒業（見込）証明書	出身大学長（学部長）が作成したもの。
推薦書	出身大学長（学部長）等が作成し、厳封したもの。（様式任意）
成績証明書	出身大学長（学部長）が作成し、厳封したもの。 専攻科修了見込み者または修了した者は、専攻科の成績証明書と併せて、短期大学若しくは高等専門学校の成績証明書も提出してください。 大学に編（転）入学した者は、編（転）入学前の学校の成績証明書も提出してください。
志望理由書1 および 志望理由書2	所定の用紙を使用し、英語（200語程度）で記入してください。（本募集要項とじ込み） 志望理由書1に「志望動機について」記入してください。 志望理由書2に「特定課題研究の計画について」記入してください。 （特定課題研究については、17ページを参照してください。） 志望理由書は、パソコン等で作成し所定欄に貼り付けてもかまいません。なお、説明をさらに必要とするものは、補足資料を添付してください。

英語能力に関する証明書又は申立書	<p>TOEIC, TOEFL 又は IELTS 等の英語能力に関する試験のスコア証明書のオリジナル及びそのコピーを提出してください。</p> <p>なお、TOEIC については TOEIC 公開テスト (TOEIC®L&amp;R) のスコアのみ、TOEFL については、TOEFL-PBT, iBT, CBT のみ有効です。ただし、大学等において英語カリキュラム制度の一環として TOEIC 又は TOEFL を受験している場合は、TOEIC®L&amp;R IP テスト (団体特別受験制度) 又は TOEFL-ITP (団体向け TOEFL テストプログラム) のスコアも有効としますが、その場合は、TOEIC 又は TOEFL を英語カリキュラム制度の一環として取り入れていることが分かるもの (履修の手引きのコピー等) を添付してください。(山口大学在学者は、履修の手引きのコピー等の提出は必要ありません。)</p> <p>*スコアは、2022 年 4 月以降に受験したものを有効とします。</p> <p>**スコア証明書のオリジナルは確認後返却します。</p> <p>***証明書に関して不明な点がある場合には、「4. 提出先」に問い合わせてください。</p>
検 定 料	<p><b>30,000 円</b></p> <p>本学所定の用紙に、必要事項を記入のうえ最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行で山口大学指定の口座に払い込んだ後、郵便局・ゆうちょ銀行から受け取った振替払込受付証明書 (お客さま用) を所定欄に貼り付けてください。なお、出願書類を受理した後は「6. 検定料の返還について」に記載している場合を除き、いかなる理由があっても払込済の検定料は返還しません。</p>
そ の 他 証 明 書	<p><b>【出願資格 (2) による出願者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学位取得見込み」で志願する者は、在籍する短期大学長又は高等専門学校長が発行する次の証明書。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①在籍する専攻科の修了見込証明書</li> <li>②学士の学位の授与を申請する予定である旨の証明書 (様式任意)</li> </ul> </li> </ul>

本選抜において出願の際に提出いただいた出願書類等で得た個人情報は、本学の入学者選抜に関わる業務のほか下記の業務に利用します。なお、個人情報の保護に関する法律第18条第3項各号及び第27条第1項各号に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

- (1) 合格者の受験番号、住所及び氏名等の個人情報を、入学手続に関わる業務に利用します。
- (2) 入学手続者の受験番号、氏名、性別、生年月日、出身高等学校等の個人情報を学籍管理等の修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務並びに厚生補導に関わる業務に利用します。
- (3) 入学者選抜で取得した入学手続者に関わる成績等の個人情報を、入学料免除、入学料徴収猶予、第1年次における授業料免除及び奨学生採用等の経済支援に関わる業務に利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、統計処理業務及び本学における入学者選抜方法の改善に関わる調査・研究に利用します。
- (5) その他、本法人の定める「学生・保護者等に係る個人情報の取扱いについて」※に従って個人情報を利用します。

※「学生・保護者等に係る個人情報の取扱いについて」

[https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~soumuka/jyouhou/personal/policy/guide\\_student.html](https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~soumuka/jyouhou/personal/policy/guide_student.html)

### 3. 出願方法

- (1) 入学志願者は、前記2の出願書類等を取りまとめ、下記4の提出先へ提出してください。
- (2) 出願書類等を郵送する場合は、書留速達郵便とし、封筒の表に「技術経営研究科出願書類在中」と朱書きしてください。

### 4. 提出先

山口大学工学部学務課入試係

〒755-8611 山口県宇部市常盤台2丁目16-1 電話(0836)85-9012

### 5. 受験票の送付

出願書類受領後、受験案内とともに受験票を送付します。令和6年5月24日(金)までに届かない場合は、4. 提出先に問い合わせてください。

### 6. 検定料の返還について

ア) 次に該当した場合は納付済の検定料を全額又はその一部を返還します。

- ① 検定料を納付済であるが山口大学に出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納付した場合又は誤って所定の金額より多く納付した場合
- ③ 出願書類等を提出したが出願が受理されなかった場合

イ) 返還請求の方法

上記①又は②に該当した場合は、下記の問い合わせ先に連絡してください。連絡があった後に「検定料払戻請求書」用紙を送付しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

また、上記③の場合は、出願書類等返却の際に「検定料払戻請求書」用紙を同封しますので、必要事項を記入のうえ、下記の問い合わせ先へ郵送してください。

検定料返還に関する問い合わせ先

〒753-8511 山口県山口市吉田1677-1

国立大学法人 山口大学財務部財務課

電話 (083) 933-5098

## VII 入学者選抜方法等

### 1. 選抜方法

オンライン会議ツールによる面接及び出願書類を総合して判定します。

#### (1) 面接方法について

全て英語で行います。

志望理由書1及び志望理由書2に記載された内容に基づき、Power Pointによるプレゼンテーションを10分程度行っていただき、プレゼンテーション終了後、その内容をふまえた質疑を行います。

#### (2) 機器等の準備について

オンライン試験実施のため、以下の点に留意して各自準備を行ってください。

- ・PC、タブレットなどの通信機器を各自で用意してください。
- ・カメラおよびヘッドホン、マイクを各自で用意してください。PC等に内蔵されている場合でもクリアな音声で試験を実施するために、ヘッドセットの使用を推奨します。
- ・オンライン会議ツールを使用するため、インターネット接続環境が必要です。
- ・受験する部屋は個室とし、同室に他の人が居ないようにしてください。
- ・事前に接続テスト行う予定です。接続テストは、試験当日と同じ環境で実施するようにしてください。詳細については別途連絡いたしますので、受験者の方は必ず参加するようお願いいたします。

## 2. 選抜期日

令和6年6月2日（日）

選抜期日当日の接続時間は、「受験票」を送付する際に通知します。

## VIII 注意事項

1. 受験の際に、受験票を必ず携行してください。
2. 出願手続後、提出書類の返却及び記載内容の変更を認めません。
3. 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
4. 入学試験に関する照会は、次をお願いします。

山口大学工学部学務課入試係                      〒755-8611 山口県宇部市常盤台2丁目16-1  
電話 (0836)85-9012

## IX 合格発表

令和6年6月14日（金） 正午

合格者には合格通知書を郵送します。電話その他による合・否の問い合わせには応じません。

また、山口大学大学院技術経営研究科のホームページに合格者の受験番号を掲載します。

ホームページアドレス

<https://mot.yamaguchi-u.ac.jp/>

なお、合格者の受験番号の掲示は行いません。

## X 入学手続

合格者には入学手続関係書類を郵送しますので、次の期間内に工学部学務課入試係において入学手続を完了してください。

### 1. 入学手続期間

令和7年2月26日（水）～令和7年2月28日（金）

### 2. 入学時に要する経費

#### (1) 入学料及び授業料

入学料（入学手続時納付）		282,000円（予定額）
授業料（入学後納付）	前期分	267,900円（予定額）
	後期分	267,900円（予定額）

注1. 本募集要項公表後、令和7年度入学者に係る入学料、授業料の改定を本学として決定した場合は、改定後の額となります。また、既に納付されていた場合は、改定額との差額を納付していただくこととなります。

2. 在学中の授業料の納付は、入学手続時に郵便局・ゆうちょ銀行へ提出する自動払込利用申込書（入学手続書類とともに郵送します。）に基づき、前期分は5月末日、後期分は11月末日（末日が土・日曜の場合は、その前の平日）にゆうちょ銀行の学生（又は学資負担者）名義の口座から自動的に引き落とし大学に納付することとなります。引落日の前日までに必ず入金しておいて下さい。

3. 授業料は、在学中に授業料改定を行った場合、新授業料を適用します。

4. 入学手続きを行った者が、入学を辞退したときは、納付済みの入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

#### (2) 諸経費

学生健康保険組合費	5,000円
学生教育研究災害傷害保険料	2,430円（学生教育研究賠償責任保険を含みます。）

## XI 入学後について

### (1) キャンパス

推薦による選抜で入学された方は、常盤キャンパス（宇部市）で修学することになります。

### (2) 講義での使用言語と授業科目について

講義での使用言語は英語になります。日本語は使用しません。授業科目は、9ページを参照してください。

## XII その他

1. 障害等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願に先立ち、受験上及び修学上希望する具体的対応を記載した相談書（次ページに様式を掲載）を令和6年4月5日（金）までに工学部学務課入試係へ提出のうえ、相談してください。
2. 入学料及び授業料の納付が困難な者に対しては、それぞれ免除する制度があります。この制度により、入学料及び授業料の免除を希望する者は、下記に問い合わせください。
  - ・ 山口大学学生支援部学生支援課学生サービス係  
山口県山口市吉田1677-1 電話 (083)933-5611
  - ・ 山口大学工学部学務課学生係  
山口県宇部市常盤台2丁目16-1 電話 (0836)85-9011
3. 大規模自然災害により被災した志願者の検定料の免除について  
山口大学では、大規模自然災害により被災した受験生の進学機会を支援するために、本学が実施する学部及び大学院入試の入学者で、下記に該当する場合には、検定料免除の特別措置を行います。  
検定料の免除を希望される志願者は、出願前に必ず学生支援部入試課までご連絡ください。

大規模自然災害により災害救助法適用地域において被災し、次のいずれかに該当する方

1. 主たる学資負担者が所有する居住家屋等が全壊（全焼，全流失含む。），大規模半壊，半壊（半焼含む。），浸水等の被害を受けた場合
2. 主たる学資負担者が当該災害により死亡又は行方不明の場合

※免除の対象及び期間について

本件は、災害発生後に実施される入学試験が対象となります。期間については、原則、当該災害が発生した年度及び翌年度の2年間が対象となります。詳細は下記問い合わせ先で確認してください。

検定料免除に関する問い合わせ先

山口大学学生支援部入試課 電話 (083) 933-5153



(様式)

令和 年 月 日

山口大学 副学長（教育学生担当） 殿

フリガナ

氏名

性別

住所〒

電話番号

最終出身学校名

### 事前相談書

山口大学大学院に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。

### 記

1. 志望する研究科・専攻（専修、コース等）及び入試種別
2. 希望指導教員名（希望があれば記載）
3. 障害の種類、程度
4. 受験上の配慮を希望する事項
5. 修学上の配慮を希望する事項
6. 大学等における生活状況等（主として授業関係）
7. その他
8. 添付書類  
 医師の診断書（写し可）または障害者手帳の写し ※配慮の根拠を示す書類として、  
いずれかを必ず添付してください。日本語または英語の診断書を推奨します。  
 その他相談する際に必要と思われる参考資料

## Structure of the Graduate School's Curriculum

The graduate school curriculum is designed for the major field of innovation and technology management. Its aim is, by taking advantage of technology, to nurture project leaders, managers, or directors who proactively promote new businesses regionally or globally. The curriculum is systematically organized into three course groups: Fundamental, Advanced and Applied. Fundamental courses cover six underlying areas of technology management. Advanced courses are structured around Strategy Planning, Strategy Development, Business Planning, Problem Solving, Group Management, and Intellectual Property. Special Issue Research - a compulsory course - requires each student to conduct a research on a practical issue.

### 1. Structure of Courses

Group of Courses	Courses	Category
Fundamental Courses	Innovation Management	Compulsory
	Advanced Course on Operations Management	
	MOT Business Laws	
	Finance/Accounting & Business Economics	
	Technology Marketing	
	Corporate Strategy Theory	
Advanced Courses	Advanced Course on Open Innovation	Selectively Compulsory (Choose at least five courses )
	Advanced Course on Research & Development Management	
	Marketing Research	
	Advanced Course on Business Finance	
	Advanced Course on Strategic Thinking	
	Theory of Inventive Problem Solving	
	Management Organization	
	Leadership Theory	
	International Intellectual Property Laws	
Applied Courses	Intellectual Property MOT	Selectively Compulsory (Choose at least one course)
	Green MOT	
	Life Science MOT	
	Monozukuri MOT	
	Data Science MOT	
Special Courses	Special Programs	Optional
	Internship	
Research	Dissertation I	Compulsory
	Dissertation II	

## 2. Lecturers and Course Contents

Course Name	Lecturer	Course Content
INNOVATION MANAGEMENT	Professor Ishino  Assoc. Prof. Takahashi  Assoc. Prof. Nguyen	<p>The innovation concept is not restricted to R &amp; D activities only. It goes beyond R&amp;D and should be interpreted as the creation of new value for society and customers. This lecture provides essential basic knowledge about the characteristics of innovation such as the essence of innovation, its patterns, theories and models related to innovation. It also covers various aspects of innovation management such as R&amp;D, product architecture, open-close innovation and many others. Furthermore, through this lecture, students will understand not only "value creation" but also "value capture" that has shown its increasing importance in this era of dramatic changes and uncertainty. Then they will be able to figure out how to adapt to these changes and generate valuable innovation. In addition, to get to the bottom of "value capture", through a variety of academic study and practical research, we will discuss in detail about the process of innovation commercialization, the utilization of data science to gain business intelligence, the evolution in business model regarding innovation in the health care and semiconductor electronics industry. At the end of the lecture, to sum up the course, we will discuss innovation policies in Japan through several business cases. This is an omnibus lecture which four faculty members are responsible for. The lecturers aim to link theoretical foundations and practical research so that students can deepen their understanding of innovation from a multifaceted perspective.</p>
ADVANCED COURSE ON OPERATIONS MANAGEMENT	Professor Haruyama	<p>This course discusses the overall operation of corporate activities such as product development, production planning, material procurement, workflow control from the perspective of project management and logistics management. In product development, a great deal of time and investment as well as a development plan (development target) which focuses on future market trends are vital. In addition, the course will explain thoughts and methods for SCM (Supply Chain Management) because it is related to manufacture management for mass production, material procurement, inventory control, quality control, logistics, securing of profit as well as the commercialization plan which is based on market trends and road map of technology. Lectures will use examples in designing and manufacturing of automotive parts and other products to deepen the understanding of students through discussions and exercises. Students will also understand the role and positioning of the project management in production control and SCM.</p>

Course Name	Lecturer	Course Content
MOT BUSINESS LAWS	Professor Takeuchi	<p>The advancement of technology and globalization of corporate activity has increased demand for incorporating technology developed outside. This requires the capability to carry out business strategy and intellectual property strategy.</p> <p>This course covers legal contents involving corporate business both locally and internationally, such as international IP laws, WTO TRIPs treaty, intellectual property laws, unfair competition prevention law, antitrust law, civil law, related codes of legal procedure and rules of determining applicable law.</p> <p>The lectures go beyond mere understanding of law interpretation. This course aims to help students to obtain necessary practical ability of legal contract negotiation, contract document preparation, case analysis of intellectual property right dispute, effective protection of intellectual property right, transaction of the scope of intellectual property right, litigation strategy and strategic utilization of the intellectual property.</p>
FINANCE /ACCOUNTING & BUSINESS ECONOMICS	Professor Matsuura	<p>The course is the combination of business economics and finance/accounting. Business economics is the analysis of major management decisions using the tools of economics. Business economics applies many familiar concepts from economics such as demand and cost, monopoly and competition, the allocation of resources, and economic tradeoffs to aid companies in making better decisions. Finance/accounting will focus on the fundamentals of corporate finance/accounting and also provides the basic knowledge on investment principles. After the course, students will be able to demonstrate a familiarity with a range of fundamentals in economics/finance related to the main topics of business economics: decisions of the firm, market structure, decisions under uncertainty, and government decisions. They are also able to understand basic econometrics and obtain the skills to apply the knowledge to analyze practical problems.</p>
TECHNOLOGY MARKETING	Professor Fukuyo	<p>"New product development is more than just making products that work." (T. Curtis)</p> <p>Based on this understanding, the students in this course will first learn the following fundamental knowledge of marketing that product development personnel need to know: definition of marketing, finding a market opportunity by an environmental analysis, segmentation, targeting, and marketing tools such as product, price, place, and promotion policies. Secondly, the students will learn the knowledge and skills related to the process of new product development where the product development personnel are deeply involved in: clarifying a customer's problem, concept design as interim solution for the customer's problem, project design and detail design based on the concept design, manufacturing and tests, etc. In order to understand the process of marketing and new product development deeply, in parallel with lectures, each student draws up a product plan based on acquired knowledge and skills, and original ideas.</p>

Course Name	Lecturer	Course Content
CORPORATE STRATEGY THEORY	Professor Inaba	The objective of this course is to study management strategy basics which provide students background knowledge including technical business strategy terms, business analysis techniques and strategic planning framework for learning management of technology effectively. This course also refers to a wide range of business functions (e.g. business administration, marketing and finance), as implementation measures of management strategy, which are subordinated to corporate strategy. Students learn interrelationship and consistency among them so that they can study other courses efficiently and effectively.
ADVANCED COURSE ON OPEN INNOVATION	Professor Matsuura	The objective of this course is to study strategy formation and its implementation for effective open innovation. Recent weak performances of many Japanese manufacturing firms which adhere to traditional closed innovation apparently raise doubts on the effectiveness of this traditional innovation mode in the rapidly changing globalized business field. Firms should strategically examine how to construct relationship with other entities in broad business ecosystem and consequently achieve innovation for sustainable growth, as businesses get increasingly open. We study contemporary open innovation in comparison with traditional innovation mode as well as organizational structure and capabilities which are suitable for open business activities. We also investigate national/regional policies aiming to foster open innovation and their impact on firms' activities in some of leading countries. We then discuss major topics in terms open innovation implementation such as R&D outsourcing, open IP and VC utilization.
ADVANCED COURSE ON RESEARCH-AND-DEVELOPMENT MANAGEMENT	TBD	The objective of this course is a comprehensive understanding of Research and Development (R&D) management. R&D activities are to implement a technology strategy that is part of corporate/business strategy. It is a crucial functional area of management discipline. Competitive advantage in business is highly dependent on innovation and the development of new technologies. R&D activities contribute significantly to organizational performance and growth. This lecture provides insight into the global R&D platform. It is intended to help researchers and engineers to understand the roles and contributions of R&D functions, and enable them to plan their careers in R&D activities. Furthermore, it contributes to building the organization's competitiveness by promoting technology development, acquisition, and innovation of new products and processes. Moreover, it gives an introduction, objective, scope, and different methods of portfolio management. In addition, it describes the accounts of theoretical understanding and framework of New Product Development (NPD) as well as organization models to explain the NPD execution. Some business cases such as the state-of-the-art semiconductor industry are discussed.

Course Name	Lecturer	Course Content
MARKETING RESEARCH	Professor Ishino	<p>In order to understand consumers' (or customers') needs and develop an effective marketing strategy, marketing research is indispensable. An accurate insight based on information and data becomes a great force for the problem solution in business strategy, i.e., in finding business opportunities and making an efficient marketing plan. This course aims to understand the importance of marketing research and learn about how to apply it to practical situation. To execute appropriate decision making as a leader or a manager, you learn the entire systematic process of marketing research: Data Identification, Data Collection, Data Analysis, and Information Use, where clarifying marketing problems is the most important. For deeper understanding, this course deals with marketing research from the perspectives of both the research process and the research methods. In particular, research methods mainly consist of statistical methods, and partially include machine-learning methods. Therefore, we learn about basic statistics in the early stage of this class. In addition, this class includes some exercises based on several concrete cases.</p>
ADVANCED COURSE ON BUSINESS FINANCE	Professor Matsuura	<p>The purpose of this course is to study fundamentals of managerial finance/accounting which underpin persuasive business planning and efficient investment decision making process in the context of value maximization. We first examine premise, assumptions and logic for setting value maximization as the one and only objective in corporate finance with reference to corporate governance. We then study investment decision rule with emphasis on its critical constituents, namely 1) hurdle rate estimation, 2) return metric selection and 3) project definition and cash flow projection. With regard to 1), we develop it mainly based on CAPM in conjunction with understanding risk-return relationship and portfolio effect. With regard to 2), we review calculation procedure and compare advantages/drawbacks of most typical metric such as ROI, NPV and IRR. With regard to 3), we examine side-effects (e.g. opportunity cost and synergy effect) and relationship with other projects for characterizing a project appropriately. We also develop sophisticated simulation-based investment analysis capitalizing on managerial accounting knowledge.</p>
ADVANCED COURSE ON STRATEGIC THINKING	Assoc. Prof. Nguyen	<p>This course focuses on the strategic thinking about problem solving, decision-making, and related strategic management. In general, tackling business issues requires a thinking process, that is, to grasp the essence of the issues and make appropriate decisions. In fact, when we are faced with business issues, subconsciously we tend to solve them with our own experience. However, relying on experience alone, without the "know-how" of problem solving and decision making, has its limitations. Through examining various case studies, the course will systematize lessons from the success and failure of cases as well as summarize theories on strategic thinking and decision-making. It will also touch on strategy analysis, strategic management, thoughts about risk and some related game theories.</p>

Course Name	Lecturer	Course Content
THEORY OF INVENTIVE PROBLEM SOLVING	Professor Kaminishi Professor Ohshima	<p>TRIZ (the theory of inventive problem solving) has an inductive theoretical system for inventive problem solving such as technology forecasting based on patent analysis, trend analysis on advancement, a matrix of contradictions, a proposal for solutions and so on. In this lecture, first, you will learn the theoretical framework of TRIZ, its methodology, and the underlying concept to improve the ability to identify, analyze and solve problems, and to develop creative products as well as to enhance inventive faculty significantly.</p> <p>Secondly, in order to improve the capacity for business feasibility assessment of technology and decision on R&amp;D investment, you will gain an understanding of the theory and methodology on invention and evaluation of the concept, adding value to patents, strategic and systematic expansion of intellectual property. Then, we will have group discussions on creativity based on a specific case.</p> <p>Finally, in order to acquire the capacity to capitalize intellectual property on your own following the creation of ideas, we will conduct practical problem solving exercises using advanced software that guide strategic creation of intellectual property by linking the patent database of major developed countries with TRIZ.</p>
MANAGEMENT ORGANIZATION	Assoc. Prof. Takahashi	<p>This course discusses management organization. An organization like a business corporation has a hierarchical structure where ranked relationship exists among the powers, and among members.</p> <p>Moreover, communication also takes place in the hierarchical organization, for example, the bottom-up process of obtaining authorization from senior executives for a plan by circulating a draft proposal prepared lower down in the organization.</p> <p>An organization equipped with a hierarchical structure is generally called a formal organization that can be divided into three types: functional organization, divisional organization, and matrix organization.</p> <p>There is also an informal organization that co-exists with formal organization. Informal organization is established by spontaneous individual connections, for example, between members that join the company at the same year, or those coming from same hometown. This informal organization affects the information transmission and communications throughout the organization. It should be noted that information exchange takes place within the corporation where both formal and informal organizations co-exist.</p> <p>This course provides students the knowledge of organization design, organization structure, as well as features of each organization structure from the viewpoints of management and management organization theory. Through learning these organizational frameworks, students will understand how an organization should be designed.</p> <p>The goals of this course are i) to understand the basics of management organization theories and acquire the way of thinking in this field, and ii) to be able to reorganize and systematize actual corporate management.</p>

Course Name	Lecturer	Course Content
LEADERSHIP THEORY	Professor Inaba	<p>"What is excellent leadership?" has been questioned from a distant past, long before business administration research had emerged. It has attracted researchers in various fields of philosophy, ethics, history, religion, politics, and military affairs, etc. In this course, leadership is defined as "the abilities to set goal of a team and draw the team member's cooperation and contribution to achieve the goal effectively." Leadership researches in business administration are roughly classified into four schools; 1. Trait Theory, 2. Behavioral Theory, 3. Contingency Theory, 4. Transformational Leadership. Leaders are expected to fulfill various tasks such as defining and solving problem; evaluating, and motivating subordinates, and energizing organization. However, leadership roles vary with times and circumstances. This course does not rely on one single theory, but encourages students to exploit the theories effectively depending on situations.</p>
INTERNATIONAL INTELLECTUAL PROPERTY LAWS	Professor Takeuchi	<p>International intellectual property (IP) law system has historically promoted harmonization of national systems in Japan, EU, US and other countries, admitting different national IP protection systems from each other, such as WTO TRIPS treaty which includes substantive provisions relating to entire IP area and other international treaties, although not a few national IP systems differ from ones of other countries.</p> <p>This course aims to acquire knowledge and skill which is necessary for international IP strategy planning by understanding major treaties and agreements relating to IP, comparison of major country's IP system such as Japan, EU, US and other countries. In addition this course shall provide practical Open IP management techniques such as international joint R&amp;D agreement, IP license agreement, NDA, IP dispute risk management and Trade Secrets management.</p>
INTELLECTUAL PROPERTY MOT	Professor Takeuchi	<p>The latest Intellectual property (IP) management is now constituted by not mere Closed protection of IP rights but Open promotion of collaborative IP development and transaction involving various information such as basic technology, leading companies in a particular technology field, termination or failure of technology development, new product development, and others.</p> <p>The course's aim is to acquire the skills that are important for building Open IP strategy by understanding practice of IP transaction, such as joint R&amp;D arrangement, IP license arrangement, IP dispute risk management and Trade Secrets management, and the features of domestic and international intellectual property system as well as being able to handle the databases on IP transaction and disputes.</p>



Course Name	Lecturer	Course Content
GREEN MOT	Professor Fukuyo	<p>The purpose of this course is to study the development of "green" businesses and technologies, which contribute to establish a clean, energy-efficient, and sustainable society.</p> <p>We will first conduct a general analysis of the current state of global environmental issues, energy security, energy saving/creation, and energy storage based on publicly available materials.</p> <p>Second, we will examine the current state of research and development and commercialization in each promising field (solar power generation, wind power generation, biomass, recycling, EV, etc.).</p> <p>Each student will examine documents related to a particular green business or technology and make reports on the actual state, problems, and outlook of the green business or technology from the viewpoints of engineering, policy, legal system, market, etc. Through reports and discussions, the students share knowledge.</p>
LIFE SCIENCE MOT	Professor Ishino	<p>This course focuses on the pharmaceutical and biotechnology-based industry. In this kind of industry, companies directly conduct fundamental research, where their business is inevitably linked to science. Therefore, it brings high uncertainty to their business, which is called a "high risk, high return" business. The existing business models, approaches, and systems cannot fully handle problems that are specific to such a high-risk-high-return business. In fact, a new combination of innovations is needed in such a situation. The course aims to explore the favorable relationships between innovations of technology and innovations of the business style in such an industry, while being based on the actual company cases. Concretely, you do the following: (1) learn about the R&amp;D processes of progressive pharmaceutical companies and the effects of biotechnology in post-genome era on the companies, (2) understand the important features of business tied directly to science: i.e., the uncertain, complex, interdisciplinary, and fast-changing, (3) think about the difficulties that pharmaceutical and biotechnology-based companies should solve, and (4) discuss the appropriate business strategy and business model, while verifying the actual company cases.</p>
MONOZUKURI MOT	Professor Haruyama	<p>With the progressive improvement of ICT, manufacturing business management has been largely dependent on the ability to utilize digital engineering (DE). In the light of this, first and foremost, this course will clarify the issues of the traditional DE by discussing and organizing the following topics from both engineering and management perspectives. 1) How the various systems supplied to support DE are utilized in not only product planning, development and manufacturing but also the whole product lifecycle such as logistics, sales, procurement, maintenance, repair, collection and disposal. 2) How these systems contribute to the management, and what their limits and challenges are.</p> <p>Next, you will learn the reasoning behind Analysis-Led Design (ALD) that fully utilizes QFD, TRIZ and CAE during the early stage of designing such as in the conceptual design phase. Then, you will deepen your understanding on why ALD is exceptionally efficient in producing innovative products effectively.</p> <p>Finally, using a case study of a company which carries out advanced manufacturing utilizing ALD, we will discuss how human resource development for the advancement of DE to ALD, technological development, organizational reform and infrastructure development should be.</p>

Course Name	Lecturer	Course Content
DATA SCIENCE MOT	Assoc. Prof. Takahashi	<p>Data science is to derive meaningful laws and knowledge from a large amount of data. The methods used in data science vary widely depending on the knowledge to be derived. Especially related to statistics, mathematics and computer science. Data science targets not only quantitative information such as stock price information but also qualitative information such as SNS post data. Furthermore, the technical application scope of data science is also diverse. The history of the concept of data science itself is short, and it is also true that new industries are being born one after another with data science.</p> <p>Therefore, this course aims to acquire the basic concepts of data science to realize the practical application. 1) Conceptual understanding, 2) Systematization, 3) Knowledge acquisition of theoretical basis. The goal is to reach these three points while practicing with small-scale data, we will understand the flow to the knowledge derivation in the step of a) data preparation b) pattern recognition c) visualization.</p>
INTERNSHIP		<p>This optional course provides the student with an opportunity to gain practical knowledge and skills from a short-term work experience while applying the knowledge learnt at the school. Students, who want to take this course, must consult the supervisors in advance for better matching the internship opportunity with the student's interest.</p>
DISSERTATION I		<p>The student chooses a research theme which is assumedly related to his or her future career path, and advances the research on his or her own initiative. Academic supervisors, through discussion, will instruct the student in the methods and contents of the research so that the student can develop a feasible research design expected to achieve the designated research objective.</p>
DISSERTATION II		<p>The student implements the research project based on the design developed in Dissertation I. The research outcome shall be evaluated with respect to the research problem and design. The progress shall be reviewed at the interim presentation. The dissertation and accompanying presentation shall be evaluated by the board of faculty members.</p>

## 山口大学大学院技術経営研究科出願書類における志望理由書の記入方法について

本研究科への出願にあたり、添付されている出願書類を提出することになります。本頁では、出願書類における志望理由書を作成する際に、記入方法等の参考としていただくために記載したものになりますので、作成時にお役立てください。

### ○志望理由書 1

#### <志望動機>

本研究科に入学を希望する理由及び動機について説明してください。

(記入例)

- ・将来は自ら起業することを望んでおり、そのために必要な知識を身に付けようと思った
- ・技術経営修士の資格を得て新たな分野の職務にチャレンジしたいと考えた
- ・将来的には経営者としての役割に就くことを想定しており、そのための知識・スキルを身に着けたいと考えた

### ○志望理由書 2

#### <特定課題研究の計画について>

本研究科では、2年次に「特定課題研究」として、学生自身が自らの将来のキャリアパスを想定したテーマを選択し、自主的に調査研究を進める科目があります。出願の時点で、どのような研究テーマを計画しているのかを、今回の志望動機などできるだけ関連付けて説明してください。また、これまでに、準備あるいは取り組んできた事柄等があれば、その内容も併せて記載してください。

なお、特定課題研究のテーマは、入学後に変更・修正を行うことは可能です。

以下に、研究テーマの例とそのテーマについての記載事項例を挙げますので、参考にしてください。

- ・現在あるいは将来の職務に関連する研究テーマの場合  
その背景・問題意識、解決したい課題（経営戦略、技術・商品開発、生産管理、サプライチェーン、販売・マーケティング、知的財産、組織、等の課題）
- ・職務に直接関連しない学術的な研究テーマの場合  
その背景・問題意識、仮説の構築と検証方法